

# わたしたちの人権

100

だれもが人間として生きていくうえで侵すことのできな  
当然の権利。これが「人権」です。

## 差別のない町をつくらう 第18回 「5・23差別をなくす」 山都地区集会



5月25日、矢部中学校体育館で第18回「5・23差別をなくす山都地区集会」が開催されました。この集会は部落差別をはじめ、いじめや仲間はずしなどのあらゆる差別をなくしていくことを目的に、子どもたちが主体となりながら、大人も共に学び合う場です。開会前のオープニングを務めたのは、矢部太鼓（やきょうだいこ）。日ごろの練習の成果を、力強いパチさばきで披露しました。続いて、同和保育園の園児、先生、保護者が「どろんことたいよう」「おつかいありさん」「さんぽ」を爽やかに合唱しました。

「そんなまちを」を合唱する参加者

問題提起では、矢部同研サークルの堀本先生と浜町保育園の平田先生が、紙芝居とスライドを使って「とものひ星のコッカー」このほか、解放子ども会小学部、御岳小学校3・4年生、同和保育園の園児が劇で発表しました。

このなかで、解放子ども会小学部では昔の人の暮らしなど現地でも聞き取りや、調査を行って、村の人たちの闘いに学んだことを地図を書き、スライドに映し出し発表しました。

## 昨年引き継ぎ、今集会でもアンケートを実施しました。 そのなかの一部をご紹介します。

- 小学生
  - 小学生は、「かわいそう」ということもさべつだということがわかりました。わたしは、足や手がない人をみたりしたら「かわいそう」と思っていたけれど、それはちがうとわかりました。これからは、さべつにきびきなくしていきけるようになりたいです。【初参加・女性】
  - おかしいことをおかしいというには勇気がいるけど、みんなが協力すれば本当の正しいことがいえると思う。【女性】
- 中学生
  - 今日の集会で、差別のことについて改めて考えなおすことができたと思います。今日のことを今後に生かして差別を少しでも減らしていきたいです。【初参加・男性】
  - 高校生の時からずっと来ていたけど、1年たつとこの集会で気づいた事が頭から抜けていたり、たつた1年の間でたくさんいじめがあつたりしてしまふので、少しでも集会で学んだことを頭の中に入れてい続けたいと思います。【女性】
  - 改めて差別をされる苦しさや大変さを実感しました。小さな取組かもしれないけど、それがどんどん大きな取組に変わっていくようにしたいです。差別をされて見えないふりをせず、きちんと止められるような人になりたいと思います。とても良い集会だったと思います。【女性】
- 一般20代
  - 子どもたちの生き生きとした発表に考えさせられました。子どもたちがあれだけのことを考へ、大勢の人の前で堂々と発表できるのだから、私たち大人もしっかりと学び考えていくべきだと思いました。【女性】
  - 子どもたちの学びがしっかりとされていることに驚いたと同時に、自分の学びがまだまだ浅いこと、もっと学んでいかなければいけないことを強く感じました。解放子ども会の子どもたちは、自分が生まれ育った土地に誇りをもっていることに触れる機会になりました。参加してよかったです。【初参加・女性】
  - 子どもたちの発表、感想を聞いて子どもたちなりの気付き、感性があるんだと思いました。皆、たからものを増やしてほしいと思いました。【男性】
  - 子どもたちの事実はなにかをしらべていく強い意志や、友だちをつくらう、大切にしようという気持ちや、力をもらいました。初参加でしたが、力をもらいました。ありがとうございます。【初参加・女性】
  - 御岳小や矢部小の子たちの聞きとりをもとに絵本等でわかりやすく説明がありよかったです。いじめや差別の現実、子どもを育てる親の学びがたりないのではないのでしょうか。大人が学び続ける大切さを改めて感じた。【女性】
- 一般30代
  - 子ども会の子どもたちが、村のことを学ぶ中でしっかりと考え、たくましくなっていることが感じられました。自分が考えること、そして伝えることが大切だと思います。【男性】
  - 今回、集会に参加している園児も勉強させて頂きました。日常身近に起きる問題で有り大人の私たちも相手の事を考えて思いやりを持って相手に接したいです。【女性】
- 一般40代
  - 問題提起の紙芝居はすばらしかったです。感動しました。子どもたちの発表も最初の頃は作文だけとか言葉による意見だけだったのが紙芝居や劇など視覚に訴えることも多く、内容がよく考えられて充実していると感じました。【男性】
- 一般50代
  - 自分たちの住む町のことを自分たちの力で調べ、発表する子どもたちの自信にあふれた声、発表後のホッとした表情に住み良い町になっていくと確信しました。大人も頑張ります。【男性】
  - 子どもたちが差別に対して前向きに考えている事がわかり安心しました。この事が多くの子どものために広げられる事を祈ります。【女性】
  - 太鼓、園児の歌声からはじまり、各発表を聞き、日頃、人権とかを考え過ぎ過ぎていたなと気づかされました。家に帰ってから、家族に今日の話を話してあげます。【女性】

## 季節のうた

### 清和短歌会

柔らかに食べられそう新緑の  
襟林は風まで緑  
ネムの木の姿あれども藤かづら  
紫すだれとなりてはびこる  
微笑めば鏡に写る吾が顔も  
ほほ笑み返し我を励ます

### 馬見原酔山会

草茂る轍は山に吸い込まれ  
ままならぬもの早苗田の水加減  
長々と寝そべる犬や若葉風

### やまなみの会「山脈」

薬師堂覆ひて揺る、糸桜  
わが町をまるく囲みて山ざくら  
山々にめりはりつけて若葉燃ゆ  
五百号「山脈」ついに完成す  
先人の夢我ら受け継ぐ  
廃校の花壇の草むらやわらかき  
土筆穂をあげ群れて立ちおり  
孤独には慣れてるつもりも  
心に雨や嵐くる日も

### 通潤句会

俯く空見上げよと朴の花  
母の日のなき戦中の母偲ぶ

野中まら子	藤島 みつ	渡邊 民生	渡辺 勝子	岩永 周子	高田 真司	岩村ヨシ子	水野 信子	草樹 萌	山下 弘子	今村 芳子	木下スエオ	中村 暢子	菊池 幸子
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------

7月の当番医	
7月 7日	坂本クリニック (電話 72-0210)
7月 14日	伴 病院 (電話 72-0029)
7月 21日	野田 医院 (電話 72-0307)
7月 28日	矢部広域病院 (電話 72-1121)

## 山都町の人口

(平成25年5月31日現在)

男	8,291人	(-8)
女	8,870人	(-20)
計	17,161人	(-28)
世帯	6,759戸	(±0)

※ ( ) は前月比  
 ※最高齢は106歳〔女性1人〕  
 ※1月1日～5月31日の出生届数 46人 (うち5月は11人)  
 ※1月1日～5月31日の死亡届数 135人 (うち5月は21人)

## モライアスロン

○日時  
8月3日(土) 13時から受付

○場所  
馬見原商店街(交流広場)

○参加資格・参加費  
5歳以上(小学3年以下は保護者同伴)  
大人 1,500円 中学生以下 1,000円

○注意事項  
川歩きがあるので濡れてもよい靴・服装をお願いします。なお、先着 300名で締め切りますのでお早めにお申し込みください。

○申込・問い合わせ先  
馬見原街づくり協議会(72-4844) 商工観光課(72-1158)



モライアスロン (Swim) の様子

## 書道

禽鷲身依中自然樂風  
吹月松無限清

和光教室書道部の宮谷文子さん(鶴ヶ田) 作

## 前号の訂正とお詫び

5月22日発行第99号の広報やまとにおいて誤りがありました。関係各位には大変なご迷惑をおかけしました。お詫びして訂正いたします。

- 23ページ「寄付」内  
(誤)・下市 坂本孝治様  
故 永村一雄様  
→(正)・下市 坂本孝治様  
故 坂本トモエ様